



避難訓練

7日（金）2校時から中間休みにかけて、不審者が東昇降口から東階段を上がり5年3組に刃物を持って侵入してきた。という想定で避難訓練を行いました。

担任が対応しているうちに子供たちを隣の教室へ移動させます。校内放送を使って不審者侵入が伝えられると近隣の教室から先生達が「さすまた」などを持って駆け付け、他の教室への移動を阻止します。

他の教室では担任、学年職員が子供たちの協力も得て、入り口に机や椅子などを使ってバリケードを作り侵入を防ぎます。

その後、先生達の対応で侵入者を制圧し安全が確保されたとして、訓練は終了しました。

訓練の後は、全校児童が体育館へ移動して、講師の牛久警察署の方から不審者などに対する心構え、危機管理等についてお話を伺いました。どんな話だったか、お子さんに聞いてみてください。

今回は不審者役を牛久警察署の女性警察官が行いました。事前に職員には知らされていなかったため、戸惑いながらの対応となりました。不審者と聞くと男性を思い浮かべてしまいましたが、女性であることも考えられます。校内に女性がいても「誰かのお母さんかな、お迎えかな？」と考えがちです。改めて、施錠の確認、名札着用、声かけの大切さを考えさせられました。

女性警察官がかなり本気で演じてくれたので、不審者との対応の様子は、とてもリアルで迫力のあるものでした。録画してその日の放課後には振り返りを行いました。

講師からは、さまざまな助言をしていただき、「真剣さと気迫を感じる訓練ができて大変よかった。」という講評をいただきました。

避難訓練は実際に即したように行うことが大切ですが、小学生では事前に十分に説明や指導をしておくなどして恐怖心や不安感を抱かせないように配慮が必要です。

子供たちはどんなことを考えたか、家庭でも話題にしてみてください。



【講師の話を真剣に聞く子供たち】



【不審者に対応した後の教室】



【その場での振り返りも記録しました。】



【前日の放課後、全職員で不審者への対応について研修して当日に臨みました。】